伝統的建造物群保存地区における文化財維持管理のためのデータベース

長崎大学工学部 学生会員 古賀七星

長崎大学工学部 フェロー 岡林隆敏

<u>1.はじめに</u>

平成3年に国選定重要伝統的建造物群保存地区に指定された長崎市の東山手・南山手一帯は,貴重な洋風 建築物,石畳や石溝といった環境物件等の文化財が多数存在する.しかし,それらは古い時代のものである ために老朽化が進み,今後対象物の所在と補修の履歴を管理することが重要となる.本研究では,伝統的建 造物群保存地区内の伝統的建造物や環境物件を「文化財」として取り上げ,それらを保存・維持管理するた めに,FileMaker Proを使用して画像データベースを作成した.

2. 伝統的建造物保存地区

昭和 50 年の文化財保護法の改正によって伝統 的建造物群の制度が発足し,全国各地に残る歴史 的な集落町並みの保存が図られるようになった. 国はその中から価値の高いものを重要伝統的建造 物群保存地区として選定し,市町村の保存事業へ の財政的援助や技術的指導を行っている.長崎市 の伝統的建造物保存地区(伝建地区)は,図-1に 示すように,旧市街の南に位置し,オランダ坂を 含む東山手地区とグラバー園を含む南山手地区に 定められている.



図-1 長崎市伝統的建造物保存地区指定地域範囲図

石畳·石段

石溝

石垣

石柵

計

<u>3.維持管理に関する物件</u>

伝建地区内には,さまざまな文化財があるが,教会や洋風住宅等の洋風建築物は伝統的建造物(図-2)として,石畳や石段等は環境物件(図-3)として管理されている.伝統的建造物の画像データベースには東山手地区に26件,南山手地区に41件のデータが収納されている.環境物件には東山手地区に計36件,南山手地区に計95件のデータが収納されている.環境物件の内訳は表-1に示した通りである.

<u>4.管理データベースの構成</u>

管理データベースの骨格の構成を、図-4 に示した。 1)初期画面 初期画面には伝統的建造物,環境 物件ともに東山手・南山手に分けられ,さらに検索 項目も地図からと一覧からと選択できる.

2)地図検索 初期画面で選択した,どちらかの
 地図が表示される.地図上には物件のある場所にボ

タンが配置されているため,見たい物件を選択し,検索結果画面を表示する.



表-1 環境物件データ収納数

東山手地区 南山手地区

11

7

14

36

36

16

31

12

95

図-2 活水本校

図-3 石段(オランダ坂)

3)一覧検索 東山手・南山手,いずれか初期画面で選択したデータの一覧表が表示される.この一覧表 から見たい物件を選択すると検索結果画面が表示される.また環境物件の場合,種別ごとの一覧表を表示さ せることもできる.

4)検索結果画面 検索結果画面では,地図検索,一覧検索で選択された物件の詳細情報が表示される. この画面から初期画面,地図検索,一覧表示に移動できる. 5)メモ記入 検索結果画面のメモ欄をクリックする
 とメモ欄が大きく表示された,メモ記入画面が表示される.
 この画面で詳細情報の更新・削除・変更を行う.
 5.長崎市伝統的建造物画像データベースの作成

1) 伝統的建造物

図-5 に伝統的建造物のデータベースの流れを示す.まず 初期画面の選択ボタンで場所・検索方法を選択できる.地 図検索では地図上にボタンを選択することで検索結果画面 へ移動できる.一覧検索では東山手・南山手,それぞれの 一覧表から選択し,[詳細]ボタンをクリックすることで, 検索結果画面に移動できる.検索結果画面には物件の写真, 詳細情報が表示されており,写真は今後追加していけるよ うにタブにまとめている.メモ記入欄をクリックするとメ モ欄が大きく表示される画面に移動し,そこへ直接書き込 むことでデータが追加・更新される.結果画面の[図面]ボ タンをクリックすると,建造物詳細図面の画面に移動する. 検索結果画面からは全ての画面に移動できる.メモ,図面 画面からは検索結果画面,または初期画面に移動できる. 2)環境物件

図-6 に環境物件のデータベースの流れを示す.初期画面 の選択ボタンで場所・検索方法を選択し,地図・一覧から 見たい物件を選択して検索結果画面に移動する流れは,1) 伝統的建造物と同じである.環境物件は1)伝統的建造物 よりもデータの収納数が多いため,種別ごとに細かく分類 している.地図検索では種別ごとに色分けし,一覧表では [石段・石畳][石溝][石垣][石柵]のボタンを配置し,そのい ずれかをクリックすると,選択した種別のみの一覧表が表 示される.検索結果画面には物件の写真をタブに載せ,位 置の詳細情報として全体地図に選択した物件のみを表示し た画像と,物件周辺の詳細地図が載せられており,画像を クリックするとそれぞれの拡大地図画面に移動する.

<u>6.まとめ</u>

本研究の成果をまとめると以下のようになる. 1)地図上にボタンを設けることで,文化財の分布(環境物 件では種別ごとの分布)を容易に把握できる.

2)画像情報(写真等)と文字情報(所在地,種別等)が同時に 閲覧できる.また,追加・更新・削除も可能である.
3)データの記入が容易であることは,それだけ管理リス クも高まる.今後の課題としてはデータを安全に管理する ため,パスワードを付ける等の対策が考えられる.





図-6 環境物件(東山手)データベースの流れ

【参考文献】 1)東山手,南山手の歴史的遺産を町づくりに生かすために,長崎市教育委員会管理部,1994.3
 2) FileMaker Pro 大全,ラトルズ,Geoff Coffey & Susan Prosser,2006.9